



	Pag.		Pag.
Aqua Menthae .....		Calcii Sulphas ustus .....	
Argenti et Kalii Nitras .....		<i>Calomel</i> .....	
Argenti Nitras .....		Calx .....	
Argenti Nitras fusus .....		Calx chlorata .....	
<i>Argilla pura</i> .....		Camphora .....	
Arnicae Flores .....		Camphora monobromata .....	
Arnicae Radix .....		Cannabis indica .....	
Arseni Iodidum .....		Cantharis .....	
Asa foetida .....		Capsulae Copaivae .....	
Atropini Sulphas .....		Carbo Ligni .....	
Aurantii Cortex .....		Carbo Ossium .....	
Aurantii Flores .....		Carbo Ossium purificatus .....	
<b>B.</b>			
Balsamum Copaivae .....		Cardamomum .....	
Balsamum Dipterocarpi .....		Carrageen .....	
Balsamum peruvianum .....		Caryophyllus .....	
Balsamum toltutanum .....		Cascarilla .....	
Belladonna .....		Catechu .....	
Benzinum Petrolei .....		Cera flava .....	
Benzoe .....		Cerii Oxalas .....	
Bismuti Subnitras .....		Cetaceum .....	
Bolus alba .....		Cetraria .....	
Bromum .....		Chamomilla .....	
<b>C.</b>			
<i>Calabar</i> .....		Charta Cantharidis .....	
Calamus .....		Charta nitrata .....	
<i>Calcaria usta</i> .....		Charta Sinapis .....	
Calcii Carbonas praecipitatus .....		Chindini Sulphas .....	
Calcii Hypophosphsis .....		Chinni Hydrobromas .....	
Calcii Phosphas praecipitatus .....		Chinni Hydrochloras .....	
		Chinni Salphas .....	
		Chinum .....	
		Chinoidinum .....	
		Chlorali Hydras .....	
		Chloroformum .....	
		Chrysarobinum .....	

	Pag.		Pag.
Cina .....		Emplastrum Opii .....	
Cinchona .....		Emplastrum Plumbi .....	
Cinchonidini Sulphas .....		Emplastrum Resinae .....	
Cinchonini Hydrochloras .....		Ergota .....	
Cinchonini Sulphas .....		<i>Eserini Salicylas</i> .....	
<i>Cinnabar</i> .....		Eucalyptus .....	
Cinnamomum .....		Extractum Aloës .....	
Codeinum .....		Extractum Belladonnae .....	
Coffeinum .....		Extractum Cannabis indicae .....	
Colchicum .....		Extractum Cascarillae .....	
Colloidium .....		Extractum Cinchonae .....	
Colloidium cantharidatum .....		Extractum Colocynthidis .....	
Colloidium elasticum .....		Extractum Colombo .....	
Colocynthis .....		Extractum Ergotae .....	
Colombo .....		Extractum Filicis .....	
<i>Cremor Tartari</i> .....		Extractum Gentianae .....	
Crocus .....		Extractum Glycyrrhizae .....	
Cubeba .....		Extractum Glycyrrhizae venale .....	
Cupri Alumen .....		Extractum Granati .....	
Cupri Sulphas .....		Extractum Hyosecyami .....	
		<i>Extractum Nucis vomicae</i> .....	
<b>D.</b>			
Digitalis .....		Extractum Opii .....	
		Extractum Physostigmatis .....	
<b>E.</b>			
Elaeosaccharum .....		Extractum Pomi ferratum .....	
Electuarium Sennae .....		Extractum Rhei .....	
Emplastrum adhaesivum anglicum .....		<i>Extractum Secalis cornuti</i> .....	
Emplastrum Belladonnae .....		Extractum Strychni .....	
Emplastrum Cantharidis .....		Extractum Taraxaci .....	
Emplastrum gummosum .....			
Emplastrum Hydrargyri .....		<b>F.</b>	
		Ferri Citras .....	
		Ferri et Ammonii Citras .....	
		Ferri et Chinini Citras .....	



撰ニ中リ最後ニ及ヒエークマン最其勢ヲ執リ反復檢警其稿ノ成ルニ從ヒ之ヲ委員總會ノ議決ニ附シ本年八月ニ至リテ編纂ノ事完ク局ヲ結テ顯正乏ヲ總裁ニ承ク其議決法案日本文獨逸文雜甸文三卷ヲ進呈スルノ榮ヲ行ス此ニ併セテ編纂事業ノ大略ヲ叙シ謹テ上申ス

和歌山縣ヨリ内務省ヘ伺 十九年十一月四日

御省令第十號日本藥局方ハ來ル二十年七月一日ヨリ御施行可相成候付テハ右期限後外國局方藥品ハ販賣不相成候ニ候哉果シテ然ラハ殘品ノ處分方ハ如何取計ヒ可然哉

内務省指令 十九年十一月十一日

書面伺ノ趣其性状品質日本藥局方ノ所定ニ適合スルモノハ勿論然ラサルモ外國藥局方藥品ノ需用者ニ其需用藥品ヲ販賣スルハ差開無之儀ト可心得事

内務省告示 十九年十月七日

薄荷草ヨリ製出スル結晶性ノ藥品ハ從來薄荷精ノ名ヲ以テ製造免許鑑札下付セシ處右ハ日本藥局方所載ノ薄荷精ト抵觸スルニ付薄荷腦ト改稱ス就テハ自今從來ノ薄荷精ヲ製造販賣セントスル者ハ薄荷腦ノ名稱ヲ用フヘシ

衛生局ヨリ内務省ヘ伺 十九年十月四日

從來薄荷草ヨリ製出スル結晶性物ハ薄荷精ノ名義ヲ以テ其製造御許可相成來候處今般日本藥局方御發布相成該方中別ニ薄荷精 (Spiritus menthae) ナル製劑アリテ薄荷油ノ十分ト酒精ノ九十分ヨリ成リ前ノ品體トハ全其品質ヲ異ニセリ而シテ此品體ハ所謂 (Menthol) ニシテメントホルハ則薄荷腦ノ儀ニ付薄荷精ノ名稱ヲ薄荷腦ニ改稱相成日本局方ノ薄荷精ト其別相立候様相成度則御告示案左ニ相伺候也

内務省衛生局報告 二十年三月四日

本邦常用ノ藥品名ニハ往時ヨリ慣用シ來レル譯名ノ不允當ナルモノアリ又其譯名及稱呼ノ種種ナルモノアリシカ爲メ其換用スヘカラサル者ヲ換用シ却テ換用シ得ヘキ者ヲ換用セス或ハ一種ニシテ數箇ノ名稱アリテ恰モ別物ノ如キ者少シトセス依テ日本藥局方所載ノ藥品名ト世上慣用セル藥品名トノ異同

日本藥局方ノ擬テ買ス

薄荷草ヨリ製出スル薄荷精ノ名ヲ薄荷腦ト改

日本藥局方所載藥品名ト世上慣用藥品名トノ異同ヲ示ス

等ヲ左ニ表示シ營業者ヲシテ錯誤ナカラシメントス此旨報告ス

(甲表) 從來慣用セル藥名ノ當否及他ノ藥品トノ種別并彼此換用ノ可否

澱粉 「アロールート」等ヲ換用スルモ妨ナシ

蜀葵根 船載ノ亞爾答亞根ヲ換用スルモ妨ナシ

別刺敦那 荳蔻ヲ以テ之ニ充ツルノ舊慣ナレトモ異種ノ植物トス未タ成分ノ精驗ヲ經サル間ハ

混視スヘカラス

樟腦 本邦産ノ樟腦ヲ精製シタルモノトス龍腦及ヒ白手龍腦(艾片)ハ異物トス

羯答利斯 本邦産ノ斑猫(葛上亭長)ナリ船載芫菁ヲ製劑用ニ換用スルモ妨ナシ

菖蒲 船載ノ「カラムス」ヲ用ユルモ妨ナシ

縮砂 從前「カルタモーム」ニ充テ無智ヲ使用シタル場合ニ用ユ「カルタモーム」ヲ換用スルモ妨ナシ

麥角 從前麥奴ト名稱シタルモノナリ麥奴ハ「クロンボー」ノ漢名ナルヲ以テ之ヲ改正セリ

五倍子 沒食子ノ場合ニ用ユ

龍膽 船載ノ健質亞那ヲ換用スルモ妨ナシ

甘草 船載ノ甘草ヲ採用スルモ妨ナシ

杜松實 本邦産ノ杜松ハ未タ精驗ヲ經サレハ猶ホ混視シ難シ

薄荷 船載ノ薄荷類即チ「メンタビベリタ」及「メンタクリスバ」ヲ換用スルモ妨ナシ

密兒拉 從來沒藥ト名稱シ來リシモノナレトモ本邦藥品市場ニ於テ此名ノモノハ極メテ不純ノ

品ノミニシテ花沒藥ノ如キハ全ク異物トス故ニ原名ヲ取レリ

拉謨奴斯 從前多ク「フランゲラ」皮ト名稱シタルモノナリ他ノ生葉ニ倣フテ植物ノ主名ヲ取レリ

接骨木花 本邦産ノ接骨木花ハ通常香氣少ナシ茲ニハ船載ノモノヲ取レリ

攝涅瓦 從來遠志ト譯シ來レトモ攝涅瓦ハ米國産ノ「ボリガラ」セチガ「ニ限ルヘシ混視スヘカラス

安母尼亞茴香精 礫砂加過泥子精ノ場合ニ用ユ  
纈草 本邦産纈草ハ未タ精驗ヲ經ス玆ニハ船載纈草ヲ取レリ蓋シ換用スルモ妨ナシ  
(乙表)同一物ニシテ從來慣用セル別名

藥局方中記載ノ藥名

世上ニ行ハルル別名

硼酸

蓬酸

撒里矢爾酸

水楊酸

鞣酸

單寧 單寧酸

豚脂

家豬脂

依的兒

硫依的兒

炭酸安母紐謨

炭酸安母尼亞

凡ソ安母紐謨鹽ニシテ從前某酸安母尼亞トセルモノ一切某酸安母紐謨トセリ

鹽化安母紐謨

格魯兒化安母紐謨

鹽素水

格魯兒水

鹽基性硝酸蒼鉛

次硝酸蒼鉛

硝酸「ビスミット」

貌羅謨

臭素

菖蒲

泥菖根

沈降製炭酸加爾叟謨

沈降製炭酸石灰

凡ソ加爾叟謨鹽ニシテ從前某酸石灰若クハ某酸加爾基トセルモノ一切某酸加爾叟謨トセリ

「コロール」加爾基

格魯兒石灰

臭化片腦

貌羅謨化樟腦

丁子

丁香

乙斯蘭土苔

依蘭苔  
「テイン」

咖啡涅

英法粘著硬膏

絆創膏

酒石酸鐵加爾謨

酒石酸鐵加里

凡ソ加爾謨鹽ニシテ從前某酸加里若クハ某酸剝篤亞斯トシタルモノ一切某酸加爾謨トセリ

一半鹽化鐵

次炭酸鐵

鹽斯性炭酸鐵 炭酸鐵

粗製硫酸鐵

綠礬

還元鐵

水素還元鐵

黃色沃度化汞(沃度化汞)

第一沃汞

昇汞(過格魯兒化汞)

第二沃汞

赤色沃度化汞(過沃土化汞)

苛性加里

水化加爾謨 腐蝕剝篤亞斯

貌羅謨化加爾謨

臭素化加爾謨 臭素化剝篤亞斯

凡ソ貌羅謨化鹽ニシテ從前臭素化某金屬トセルモノ一切貌羅謨化某金屬トセリ

格魯兒酸加爾謨

鹽酸剝篤亞斯 鹽素酸加里

過格魯兒化鐵液

一半鹽化鐵液

魯別利亞

印度烟草

炭酸麻佃涅叟謨

炭酸苦土 炭酸麻佃涅矢亞

凡ソ麻佃涅叟鹽ニシテ從前某酸苦土若クハ某酸麻佃涅矢亞トシタルモノ一切某酸麻佃涅叟謨トセリ

黑酸化滿俺

褐石 過酸化滿俺

醋酸那篤留謨

醋酸曹達

凡ソ那篤留誤謬ニシテ從前其酸曹達若クハ那篤倫トナセシモノ一切其酸那篤留誤トセリ  
 (附言)アルカロイドニ屬スルモノハ皆(子)ニ涅ノ語尾ヲ付シ他ノ植物素ハ「ン」ヲ以テ終ル故ニ「サントニ  
 ーチ」ヲ「珊瑚寧」トシ「サリシチ」ヲ「撒里聖」トシ「ユデイン」ヲ古埤乙涅トスルカ如キ從前ノ慣用ト差異ヲ生  
 シタルモノアリ  
 又從前「チンクツール」ヲ「丁幾ト」エキストラクト」ヲ越幾スト略書シ又ハ非沃斯ヲ以テ「ヒヨスシアムス」  
 ノ略名トシタルモノ盡ク之ヲ補完セリト雖モ尋常處方及藥瓶上ニハ丁幾越幾斯等ト略書スルハ素ヨリ  
 妨ナシ

衛生局試驗所検査印紙  
 驗所ト改稱ス

勅令節錄 第十七號 二十五年五月三十一日 内閣總理大臣伯爵伊藤博文 内務大臣伯爵山縣有朋 副署 (全文ハ官職門官  
 朕衛生試驗所ノ官制ヲ裁可シ茲ニ之レヲ公布セシム

衛生試驗所官制

- 第一條 東京大阪横濱ニ衛生試驗所ヲ置ク
- 第二條 衛生試驗所ハ内務大臣ノ管轄ニ屬シ衛生上試驗ニ關スル事項ヲ取扱フ所トス

内務省告示 第二十年六月二十日

衛生試驗所ニ於テ醫藥用ニ適スヘキモノト認メタル藥品ニハ左ノ検査印紙ヲ貼用ス  
 但當分ノ内務省告示ニ於テ印紙貼付制  
 限サ定ム

衛生局試驗所検査印紙  
 改正ス

二十年十二月内務省告示  
 第九號ヲ以テ印紙貼付制  
 限サ定ム

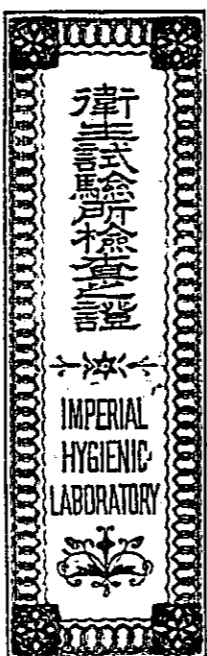
色 赤



色 赤



色 赤



色 赤



衛生局ヨリ内務省ヘ伺二十年六月日附  
 今般衛生試驗所官制被相定候ニ付同所ニ於テ藥品検査印紙之儀ハ元衛生局試驗所藥品検査印紙面ノ局  
 ノ字ヲ削除シ横文ハ張紙之通其他彩紋及印紙大小形ノ種類等有形之儘ニ取極致度就テハ元來印紙現在  
 品別紙圖書之通ニ有之候ニ付右不用ニ屬シ候テハ多額ノ消費ニ可相成候間當分ノ內在來印紙取交貼用  
 相成可然哉告示案添此段相伺候也別紙

内務省告示 第二十年十二月二十四日

自今衛生試驗所ニ於テ検査印紙ヲ貼付スルモノハ日本藥局方所定ノ藥品ニ限ル其他ハ某國藥局方適否  
 ノ告示箋ヲ交付スヘシ但何レノ藥局方ニモ記載セサルモノハ主成分ノ比例ヲ記シテ之ヲ交付スヘシ

内務省衛生試驗所所定 二十年月日附  
 改正藥品告示箋書式

衛生局試驗所検査印紙  
 改正ス

大日本帝國政府內務省

割印

検査告示

此内彩紋

彩紋器之

第何號

一藥名

願人

府縣國郡町村番地

姓名

何衛生試驗所

所長

内務何等技師姓名

検査主任

内務何等技師姓名

明治何年何月何日

割印

生鴉片取扱規則

十一年八月布告第二十一號ヲ以テ廢止ス  
三年八月九日達ヲ以テ販賣阿片烟律ヲ定ム刑法門刑律ノ目ニ載ス

阿片培養者并製煉法等ヲ取調送山サシム

鴉片烟草ノ儀ハ兼テ嚴禁ノ處猶又今般販賣鴉片烟律御定ニ相成各港在留ノ支那人ヘモ嚴重禁止被仰出候且藥用ニ供シ候生鴉片タリトモ勝手ニ取扱候儀不相成別紙之通取扱規則ヲモ被爲立候條各地方官ニ於テモ管内人民末々迄心得違無之様屹度取締可致事

生鴉片取扱規則

- 一 藥店中現在所持ノ分ハ各地方官廳ニテ検査ヲ遂ケ品位量目等委細簿記シ可置事
- 一 不得止藥用ニ供シ候儀有之賣買致シ候節ハ其度毎ニ藥店醫師ヨリモ品位量目等委細官廳ヘ可届出事
- 一 藥用關乏ニ付外國ヨリ取寄度節ハ各地方官ヨリ開港場ヘ申立候ハハ別段ノ注文ヲ以テ取寄候様可致事

内務省達 乙卯年十一月二十四日

阿片ノ儀ハ醫療ニ於テ關ク可ラサル要品ニ有之從來内國産ノ品モ夥多有之候處培養製煉ノ法疎漏ナルヨリ品位一定セス藥用ニ堪ヘサルモノ多ク隨テ輸入品ヲ仲カサルヲ得ス候ニ付其方法ヲ研究シ精良ノ品ヲ増殖センコトヲ要ス且該藥ノ儀ハ猛毒ノ成分ヲ含有シ取扱上種種ノ弊害ヲ醸シ候儀モ有之追テ賣買上取締モ可相立候條各地方ニ於テ該品製造ノ者有之分ハ左ノ雛形ニ照ラシ管内無洩取調來ル十二月  
中可差出製造人無之府縣ハ其段モ可申出此旨相達候事  
但右等取調ノ儀ハ動モスレハ收稅等ニ顧念シ現實不申立ヨリ取調不行届儀モ有之ニ付心得違無之様示諭可致且見本代價ノ儀ハ別ニ勘定書ヲ以受取方可申出事

雛形

族籍住所番號

阿片製造人

姓

年

名

一明治七年製造高

一明治八年製造高  
 一培養法并採收ノ時季罌粟ノ種類花ノ赤白單  
 一製煉法  
 一製造品見本量目八匁  
 但上下ノ品位有之分ハ各其品位并代價ヲ記スヘシ  
 右ノ通御坐候間此段奉申上候也

年號月日

製造人 姓名印

區戶長 姓名印

管廳長官某殿

東京府達 八年十一月二十五日

右之通被相達候ニ付區戶長ニ於テ詳細取調來ル十二月十五日限り有無共可申出此旨相達候事

内務省達 乙卯年六月九日 府廳

昨明治八年當省乙第百五十六號ヲ以テ阿片製造人取調ノ儀相達候處當時季候相後ノ見本無之向居多ニシテ取調屆兼候條本年ハ最早採收ノ期モ不遠ニ付悉皆見本差出候様可取計元來阿片ノ品位ハ地質培養等ニ從テ差等アリト雖職トシテ製煉ノ精粗ニ關シ候條製造人ニ於テ精々注意致シ候様篤ク告諭可致此旨相達候事

但採取ノ方法ハ衛生局報告第二號ノ趣旨ニ據リ取扱候様可致事

内務省衛生局報告 第二號 九年五月二十九日

阿片を分析すれば種々の成分ありと雖も其本性の効力は「モルヒネ」の分量に因り故に「モルヒネ」の多きものを良品とし其少なきを下品とす而して其「モルヒネ」は多少あるは國土氣候培養の適否に因ると

阿片培養者并製煉法等  
 取調ノ時季及採收方法  
 ナ示ス

雖も特に採收の善惡精粗に基づくものなり能く之に注意して多分の「モルヒネ」ある良品を製造すること肝要なり我國にして阿片を製造せしは已に久しきを經るがゆへに其慣習に因りて自然の發明を得るもの少なからざるべし然らば今一層の注意を加へは品位の精良に至るは疑ふべからず

採收するの法は六七月頃落花の後いまだ十分は熟せざる青き罌粟球へ小刀を以て淺く横紋或は波紋の切目を劃し刀尖をして内部に達せざる様注意すべし若し劃することの深ければ切口粘著し液は却て内部に落込て外に津出すること寡ければなり其切目を劃するの時刻は毎日午後五時頃より於て翌朝に至り竹篋を以て外面に凝點せる稠液を刮り取り罌粟葉上より取聚り大氣に曬して乾固し小なる麵包の狀となして貯ふべし

昨八年製造の見本并に藥店より買上けし内國産の阿片十數種を分析するに間々「モルヒネ」の含量百分中が就き十分内外に至るものありと雖も中よは一二分或は毫も含まざる品あり此の如く品位の差等ある所以のものは全く採收製煉に因ること明なり從前我國に於ては阿片を分析するの術を知らず殊に製造人は其成分の何たることを辨せず隨ひて品位の價格を定むるも只其外貌と臭味とを見て賣買するに因りて偏り收穫の多きを貪り動もすれば莖と葉とを搗碎して之を煎熬し阿片と唱へて販賣するよし總て物産を製出するは各自經年の習熟と工夫とに因りて益其發明を累ね内國の需用を充足せしめ遂に外國にも輸出し其人民の賞求よまて至らば己れ一身の幸福榮譽を得るのみならず即ち一國富強の基ともなりて能く其義務を盡すと云ふべし殊に藥物製煉の如きは人の性命に關係するものなれば最も丁寧な注意をすし歐米各國に於ては醫療に供する藥物に取締法ありて阿片の如きは「モルヒネ」含量の多少



八年十一月二十五日東京  
府達八同年同月二十四日  
内務省達乙第百五十六號  
ノ下ニ載ス

府縣下製造ノ阿片見本  
ヲ分析シ其定規試驗表  
ヲ製造人ニ示ス

よ因りて之ガ制を立て 阿片百分中に就き獨國米國はモルヒネ十分英國は六分乃其制規より少なきものは  
一切調劑販賣するを得ず本邦よても追々藥物の取締を制定すべきに付阿片製造人よ於ては前顯の趣旨  
を認識し今より培養採收製造に盡力し専ら良品の阿片を製煉せんことを希望す

東京府達九乙第百二十九號 區月長

阿片製造ノ儀本年最早採收ノ期不遠ニ付昨明治八年十一月中相達置雛形ニ照シ無遺漏見本可差出候且  
採收方法ハ去ル五月衛生局報告第二號ノ趣旨ニ據リ扱方製造人共へ可及懇諭此旨相達候事  
但製造人有無一大區毎取纏メ當府第二課へ可届出事

内務省達四第百二十五號 五月十六日 大阪府三重縣岐阜縣千葉縣石川縣  
昨九年中差出候其府縣下製造ノ阿片見本夫夫遂分析候處其定量別紙表面ノ通有之候條製造人共へ其旨相  
達猶勸獎可致事 (別紙)

阿片試驗表

乾燥阿片百分中モル ヒ子量ノ分	濕潤阿片百分中モル ヒ子量ノ分	水	分	地	名	製	造	人
一一、六六	一〇、八	一一、三	同	三重縣下伊勢國第十 二小區肥前村	川北武助	川北武助	助	人
一一、八八	一一、二六	一一、六	同	同	壯原清藏	壯原清藏	藏	助
一一、七七	一一、七七	一一、三	同	同	山村松右衛門	山村松右衛門	門	助
一一、九二	一一、八九	一一、六	同	同	中村半之助	中村半之助	助	助
一一、六八	一一、〇七六	一一、六四	同	同	西尾平藏	西尾平藏	藏	助
一〇、	八、六六	一一、四	同	同	市川庄吉	市川庄吉	吉	助

四、七八	四、一六	一一、	同	同	辻原喜八	辻原喜八	八	助
八、六五	七、六四	一一、六五	同	同	萩原市右衛門	萩原市右衛門	門	助
一一、六八	一一、一一	一一、三	同	同	伊藤藤金助	伊藤藤金助	助	助
一四、八九	一一、九五	一一、	同	同	中谷清助	中谷清助	助	助
一、六	一、四	一〇、七	同	同	武藤藤金平	武藤藤金平	平	助
〇、七	〇、六一三	一一、三七二	同	同	林藤淺藏	林藤淺藏	藏	助
一〇、三	八、九八六	一一、七五	同	同	齋藤龍安	齋藤龍安	安	助
七、三七	六、五	一一、三二	同	同	佐藤基二郎	佐藤基二郎	郎	助
九、七二	八、七	一、六	同	同	南孫七	南孫七	七	助
一〇、五	九、二	一一、五四	同	同	辰巳喜右衛門	辰巳喜右衛門	門	助
六、八三	六、二	九、八四	同	同	野口清兵衛	野口清兵衛	衛	助
七、三二	六、三七	一一、九	同	同	大宅平兵衛	大宅平兵衛	衛	助
一一、	一〇、三四四	一一、八七	同	同	大宅長右衛門	大宅長右衛門	門	助
一〇、〇四	八、六二五	一四、〇九	同	同	村田彌五郎	村田彌五郎	郎	助
七、〇四	六、〇七七	一一、六八	同	同	福谷喜三郎	福谷喜三郎	郎	助
八、二	六、〇八	一一、六五	同	同	谷川長右衛門	谷川長右衛門	門	助
七、二四	六、三六五	一一、〇八	同	同	立川市兵衛	立川市兵衛	衛	助
〇、五四	〇、四七三	一一、三二四	同	同	田村甚右衛門	田村甚右衛門	門	助
六、六四	五、九	一一、〇一	同	同	桐山兵吉	桐山兵吉	吉	助
〇、六四	〇、五六	一一、四五	同	同	戸肥定右衛門	戸肥定右衛門	門	助
六、六四	五、九四	一〇、五三	同	同	西田市兵衛	西田市兵衛	衛	助

八、九八八	八、〇三八	一〇、五七	同	同	橋岡儀右衛門
六、二	五、五四	一〇、五七	同	同	加藤長右衛門
二、九	二、五九	一〇、四八	同	同	古井三右衛門
一、〇六二	九、四八	一〇、七五	同	同	西村當右衛門
八、五六	七、五四	一一、八五	同	同	田淵仙治郎
一〇、八四	九、四	一三、三五	同	同	澤田太郎左衛門
九、六六	八、七三	九、六	同	同	吉田新右衛門
一、五四	一、三三	一三、三二	同	同	古井清三郎
七、五四	六、五六	一一、九	同	同	石田伊太郎
八、三八	七、二六	一三、三三	同	同	澤田榮三郎
九、二八	八、〇三一	一三、四五	同	同	加藤與左衛門
六、五四	五、六五	一三、五	同	同	松本彦左衛門
一、六六	一、四三	一三、八六	同	同	古井七右衛門
九、六二	八、三	一三、八四	同	同	木村孫太郎
七、三八	六、三	一三、五	同	同	加藤仁右衛門
七、九八	六、八三	一四、三五	同	同	横山保五郎
一〇、	八、五六	一四、四一	同	同	後藤助右衛門
	六、		同	同	中島半四郎
	四、五		同	同	笹原八百吉

生阿片取扱規則ヲ廢シ  
藥用阿片賣買并製造規  
則ヲ定ム

十一年十一月内務省布  
達甲第二十七號ヲ以テ  
本則施行期日ヲ定ム  
十一年十月二十五日內  
務省達ヲ以テ外國人へ  
賣渡規則ヲ定ム  
十二年三月二十九日衛  
生局通報ヲ以テ阿片交  
拂手續ヲ定ム

二十年十月勅令第五十  
二號ヲ以テ第二條ヲ改  
正ス  
二十年十月勅令第五十  
二號ヲ以テ第三條ヲ改  
正ス  
阿片賣買特許藥舖鑑札  
及製造鑑札下付方ハ十  
九年三月内務省令第一  
號ヲ以テ府縣ニ委任シ  
處分後報告セシム

二十年十月勅令第五十  
二號ヲ以テ第七條ヲ改  
正ス

布告 十一年八月九日 太政大臣 三條實美 署

明治三年八月布告生阿片取扱規則ヲ廢シ藥用阿片賣買并製造規則左ノ通相定候條此旨布告候事  
但施行ノ時日ハ追テ内務省ヨリ可相達事

藥用阿片賣買并製造規則

- 第一條 阿片ノ賣買及製造ハ藥品ニ限リ此規則ニ依テ之ヲ許可ス
- 第二條 藥用阿片ハ其内國產若クハ外國產ヲ論セス總テ内務省ニ於テ其品位ヲ定メテ之ヲ買上ケ然ル後テ各司藥場ヨリ阿片卸シ賣特許藥舖ニ拂下ケ之ヲ賣捌カシムヘシ  
但司藥場ヲ置カサル地方ニ於テハ該地方廳ヨリ之ヲ拂下クヘシ
- 第三條 各司藥場ヨリ拂下クル所ノ阿片ハ量目一匁ヲ以テ一器トシ每器司藥場ノ印紙ヲ貼附スヘシ
- 第四條 地方廳ハ土地ノ廣狹位置ヲ度リ一管内相當ノ人員ヲ限リ藥舖ノ身元人物ヲ選ミテ内務省ニ稟議シ鑿札ヲ受ケテ之ヲ本人ニ交付スヘシ  
但廢業ノ者アル節ハ其鑿札ヲ内務省ニ返納スヘシ
- 第五條 特許鑿札ヲ受タル藥舖ノ住所姓名ハ該管轄廳ヨリ管内ノ公私病院醫師藥舖一般ニ報告スヘシ  
但廢業ノ者アル節モ本文ニ準シ速ニ報告スヘシ
- 第六條 特許鑿札ヲ受タル藥舖ハ其店頭ニ特許藥用阿片賣捌所ト大書シタル看板ヲ掲ケ置クヘシ
- 第七條 特許ヲ受タル藥舖ハ半年分賣捌ノ高ヲ豫算シ毎年兩度最寄司藥場方ハ該地方廳ニ申立テ其拂下ケヲ請フヘシ但闕乏ノ節ハ臨時拂下ケヲ請フコトヲ得
- 第八條 凡ソ醫師病院及ヒ一般藥舖等ニ於テ藥用阿片ヲ要スルトキハ其量目并ニ其住所姓名及年月日病院ハ其名稱及ヒ院長ノ姓名ヲ記シ調印シタル證書ヲ以テ特許藥舖ニ就キ之ヲ購求スヘシ特許藥舖ニ於テハ長若クハ副長ノ姓名ヲ記シ調印シタル證書ヲ以テ特許藥舖ニ就キ之ヲ購求スヘシ特許藥舖ニ於テハ之ヲ賣渡スニ其量目一度ニ四十匁ヲ超ヘカラス  
但病院及醫師等ニ於テ便宜ニ依リ一般藥舖ニ就キ之ヲ購求スルト一般藥舖相互ニ賣買スルトハ妨ケスト雖モ必ス本條ノ證書ヲ以テスヘシ且其量目一度ニ八匁ヲ超ヘカラス

第九條 凡テ内外國人共醫師ノ處方箋ヲ持參シタル者ノ外ハ特許藥舖并ニ一般藥舖ニ於テ一切之ヲ賣渡スヘカラス

第十條 特許藥舖ハ每半年分阿片拂受并ニ一匁以上賣捌ノ高及ヒ買人ノ住所姓名并ニ一匁以下賣捌ノ總高等明細表正副二通ヲ造リ其管轄廳ニ差出スヘシ尤一匁以下ノ分ハ平常其明細ヲ簿記シ置キ臨時取調ノ用ニ供スヘシ

但管轄廳ハ其一通ヲ内務省ニ進達スヘシ

第十一條 醫師病院一般藥舖ニ於テハ每半年必シモ前條明細表ヲ差出スヲ要セスト雖モ平常其明細ヲ簿記シ置キ臨時取調ノ用ニ供スヘシ

第十二條 藥用阿片ヲ製造セント欲スル者ハ罌粟ノ種類及ヒ培養採收製造ノ方法ヲ記シ管轄廳ヲ經由シテ内務省ノ免許鑑札ヲ受クヘシ

第十三條 阿片製造人ハ其製造シタル阿片ノ量目ヲ記シ署名調印シタル願書ヲ以テ地方廳ヲ經由シ内務省ノ買上ケヲ願フヘシ右買上ケヲ受クルノ外決シテ内外人民ニ販賣スルコトヲ許サス

但司藥場ニ於テ其品位藥用ニ適セサル者トスルトキハ地方廳ヨリ其旨ヲ製造人ニ通知シ其阿片ハ其應ニ預リ置クヘシ

第十四條 阿片買上ケ及ヒ拂下ケノ代價ハ歲ノ豐凶及ヒ外國一般ノ相場等ニ因テ高低アルヘシト雖モ其品位ニ應シテ價格ヲ定ムルハ該藥主用ノ性分即チ「モルヒネ」ノ多少ニ因ルヘシ

第十五條 内務省ニ買上ケ及ヒ拂下ケル所ノ阿片ハ百分中ニ「モルヒネ」六分以上十一分ニ至ルマテ含有スル者ニ限ルヘシ

第十六條 此規則ニ違犯スル者ハ其犯情ニ從ヒ阿片賣買若クハ製造ヲ禁シ其所有ノ阿片ヲ沒收シ百五十圓ヨリ五百圓以下ノ罰金ヲ科スヘシ

外務内務兩省同十一月十九日  
藥用阿片賣買取締ニ付内外國產買上ノ儀客年九月中相伺同十一月五日御裁可ヲ得右資金一萬八千圓内務省へ御貸渡相成候ニ付買上手續取計居候就テハ右賣買并ニ製造規則被爲設品位ヲ定メ内外人ノ藥用

阿片製造鑑札下付方ハ十九年三月内務省令第一號ヲ以テ府縣ニ委任シ處分後報告セシム

二十年十月勅令第五十二號ヲ以テ第十三條但書ヲ改正ス

二十年十月勅令第五十二號ヲ以テ第十五條改正シ同條施行期日ヲ定ム  
十三年七月布告第三十六號刑罰法第二編第五節第一節ヲ參照スヘシ刑罰門刑律ノ日ニ載ス

求需ニ支障ナカラシメ隨テ稅關ヲ始メ一般ノ取締嚴重處分イヲシ永シ吸煙用ノ禍原ヲ防絶候様相成度尤モ外國人へ賣渡規則ノ備ハ御許可ノ上各司藥場ヨリ橫文ニ譯シ新聞紙ヲ以テ在留人一般へ報告可致積リ有之候依テ別紙規則御布告案等相添此段相伺候間至急御決裁有之度候也

指令十一月九日  
但開港開市場在留外國人へ報告ノ儀ハ別紙修正案ノ通可取計事修正案  
法制局議案十一月二十四日

別紙外務内務兩省同阿片賣買并ニ製造規則ノ儀取調候處成案中彼是支障ノ廉不少ニ付別紙ノ修正主任ノ若ニ照會候處異存無之ニ付御施行相成可然哉布告ノ分ハ元老院檢視ニ付セラレ尤モ在留外國人へ報告案ハ御裁可ノ上直チニ御指令相成度諸案調査仰高裁候也  
檢元老院

外務内務兩省同十月二十七日

阿片輸入ノ儀ハ條約而嚴禁ノ處右嚴禁ノ原因ハ支那人吸煙弊害ノ波及セシテ願慮シテ起ル約定ニシテ藥用ニ供スル阿片ヲ防ク趣意ニアラス近來洋利益流行ニ付テハ內國人民藥用ノ爲メ精製阿片ヲ仰ク亦僅々ナラス而シテ外國人ノ需用ハ勿論關シヘカササルモノト爲ス然ルニ條約而ニハ精製阿片ヲ仰ク亦別無之概シテ阿片トノ揭載有之煙毒ヲ嚴防スルニハ良好ナル約定ナカラ稅關ノ取計方ニ至リテハ私ニ右テ區別シテ其品トノ輸入ヲ許スル能ハス且精粗ノ區別ヲ判斷スルハ其實亦容易ノ事トシテ之ニ依テ稅關ノ爲メナリトテ一度多量ノ阿片輸入ヲ免許スルトキハ習慣爲例又挽回シカキ忠有然ナリトス然ルニ其實藥用ニ供スル阿片ハ精粗ノ區別ヲ免許スルトキハ陸上輸入ヲ許ササルニ於テ當ノ分ハ輸入差時ハ其糧食ヲ截絶スルト一般ニ非トモ輸入規則編立ノ積ニテ各情申出候ニ付無餘儀藥用ノ不至候ハハ右一案ハ悉皆廢止シ內務省衛生局ニ精製阿片ノ事ニ至リテ我主國ノ威權ニ關係シ談決ニ三府其他內地ハ勿論各開港場衛生局出張所等ニテ同品質下ク内外國人ヲ杜耳格地方ヨリ買入方ノ手續規則ヲ遵守セシメ適宜ノ分量ヲ賣與候ハハ内外國人トモ精製阿片ノ事ニ至リテ我主國ノ威權ニ關係シ談決ナルヲ訴フルハ食糧ヲ絶ツト同様に唱フル能ハス如何トナシハ之レヲ求ムル道ハ充分外客モ稅關ノ嚴ニ差支ナクハ依テ右方法ヲ取設クント唱フル能ハス如何トナシハ之レヲ求ムル道ハ充分外客モ稅關ノ嚴販ヲ仰ク多寡ノ概及ヒ衛生局ニ取設クント唱フル能ハス如何トナシハ之レヲ求ムル道ハ充分外客モ稅關ノ嚴產阿片買入ノ資金一萬八千圓差向別途ニ內務省へ御下モ別紙ノ通ニ有之候處我内地阿片ノ生産斤量及ヒ條右方法可然トノ御裁決ニ候ハハ前書ノ金額御貸下ク有之度候尤買入頒賣ノ規則等ハ右伺濟ノ上更ニ詳細取調相伺可申候條先大要ノ處可否仰高裁候也  
指令十年十一月五日

伺ノ趣聞届金一萬八千圓内務省へ貸下ケ候條右金額大藏省ヨリ受取追テ藥品賣拂代價ヲ以返納可致事  
 大藏省へ達十年十一月五日  
 別紙外務内務兩省伺藥用阿片買入ノ儀米書ノ通及指令候條金額渡方可取計此旨相違候事

(第一)

外國產藥用阿片買入ノ要旨  
 藥用阿片ハ日本内地ノ產亦其好ニシテ藥劑ト爲スニ足ルカ故ニ日本人民需用ノ分ハ内地產阿片ニテ大  
 凡ノ用ヲ爲スト雖モ其產出ノ數未タ充分ナラス下條調書ノ如ク猶九百ポンド程外品ヲ仰カサルヲ得ス  
 加之外國人ニ至リテハ未タ日本產ノ阿片ヲ信用セサル故之ニ供スル分トモ差向キ杜耳格上等阿片ヲ海  
 外ニテ買入各開港場司藥場ニテ左ノ據案ノ如キ方法ヲ以テ販賣スルヲ善トス右ノ如ク阿片需用ノ活路  
 ヲ開ク上ハ外國人ノ自ラ輸入セント企ツル分ハ猶更一層嚴重ノ検査ヲ加ヘ之ヲ遮絶シテ條約ノ權理ヲ  
 保存スレハ吸烟阿片ノ輸入ハ確トシテ杜塞スルヲ得ヘシ

第一

各開港場司藥場ニテ外國人へ阿片ヲ販賣スルハ同所出張ノ司藥場ヨリ前以テ横文新聞紙等ヲ以テ司藥  
 場ノ賣渡規則ニ從ツテ買ハント欲スル外國人へハ賣渡スヘキ旨外國人へ通知シ置需用ノ外國人へハ可  
 成零餘ノ少數ヲ以賣與フヘシ然レ共藥商醫者等ハ多數アラサレハ兼テ司藥場ニテ其姓名ヲ知リ得ヘキ  
 管ニ付其需ノ數ニ應ジ零餘ノ少數ニ限ラサルモ不可ナルナシ尤其買入ノ姓名及ヒ住所書并需用スル旨  
 ノ趣意書請取タル上ニテ賣渡スヘシ  
 精真阿片ハ價格モ貴キ故濫リニテ吸烟用ニ變換スルモノ有之マシ若又彼非常ニ多數ヲ買入ルハ賦或  
 ハ度度頻繁ニ買入ルル等其模様怪ムヘキ時ハ先ツ賣與フル事ヲ止メ地方官へ密告シテ其形狀ヲ探索シ  
 タル上吸烟ノヲメ賣弘メタル證據ヲ視ハ再ヒ其者ニ賣ル事ヲ止ムヘシ

第二

外國藥商ノ内兼テ司藥場ニ注文シ多量ノ杜耳格阿片ヲ買入レン事ヲ望ムトキハ其求ニ應スルモ不可ナ  
 ルナシ即チ横濱ナラハ英商ハルトリリスコント等ノ如シ

第三

阿片ハ暑熱ノ時氣需用最多シト聞然レハ毎年九月ニ西洋其筋ニ注文シ三月ニ至リ其斤高船載シ暑天ノ  
 需用ヲ準備シ四月ニ至リ更ニ注文シ八月ニ至リ其斤高ヲ船載シ翌春マテノ準備ヲ爲ス手續キニ定メテ  
 ラハ俄ニ關乏ノ憂有之マシ其斤高ノ如キハ各開港場外國人需用ノ分平年ノ總計凡ソ二百ポンド程ナラ  
 ハ大低足ラサルナシト聞シ據ルニ非ス雖モ内地人ノ需用ノ不足ヲ補フ分凡ソ七百ポンド合計九  
 百ポンドヲ買入ルトキハ大抵藥用ヲ關カサルヘシ一ポンドノ價凡ソ二十圓ト概算シテ其元資金一萬八  
 千圓ノ高ヲ要ス是ヲ司藥場ニテ預賣スルニ當リ別ニ利潤ヲ見ル事ナク只微少ノ手数料ヲ定メ司藥場預  
 賣ノ雜費ヲ補フヘシ

第四

右九百ポンドノ數ヲ横濱ヲ初メトシ各開港場及ヒ東京大阪へ相當ニ分賦スヘシ

第五

前番貯蓄ノ杜耳格阿片ヲ賣盡シ次ノ船舶品ヲ待ツノ時間杜耳格阿片絶無ニ至ルトモ外國人ニ對シ司藥  
 場ノ賣トナル理ナシ其條約ニ輸入ヲ禁スルモノヲ特別ノ取扱ヲ以預賣スル事ナレハナリ然レトモ可成  
 ハ注意シテ關乏ニ至ラサル様ニ陸續ト貯置クヘシ病客必需ノ要品ナレハナリ

第六  
 日本產ノ精真阿片ハ司藥場検査済ノ證書ヲ付シ買入ント欲スル外國人ニハ賣渡スヘシ是價格モ杜耳格  
 ヲリハ廉ニシテ其効驗著明ナルトキハ漸次是ヲ罷用スルニ至ルヘキ理アレハナリ

(第二)  
 明治八年中三府ニ於テ藥商取扱タル内外國產阿片ノ概數  
 一阿片二千五百斤餘  
 此英磅三千三百三十三磅餘

內  
 國產二千九百三十三磅餘  
 輸入品四百磅

外國人各自賣シ來リテ藥用ニ供スル分一箇年分概數ノ見込  
 一外國產百磅  
 五港并ニ他ノ地方ニテ取扱ヒタル内外品一箇年ノ概數見込凡ソ三府ノ三分一ト積リ  
 一外國產百三十三磅  
 一國產九百七十七磅餘  
 日本產阿片試驗上藥用ニ適セサル分凡ソ二百七十磅内外ト見做シ其關ヲ補フ分百磅中凡ソ七磅ノ不  
 合計四千八百十三磅

右ノ通ナルヲ以テ外國產ヲ買入ルニハ是非共九百磅餘ノ高ヲ要セサレハ開港場ノ輸入密賣ヲ嚴禁スル  
 能ハサルヘシ若シ其咽喉タル開港場ヲ取締リテ内服要用ノ供給ヲ關クトキハ内外國人醫藥用ノ困難其  
 蓋シ阿片需用ノ精密ナル實數ヲ得ルハ殆ント難事ナリ何ントナレハ一般營業者ニ公達シテ取調書ヲ出  
 サシムルトキハ外國產ハ輸入禁止ノモノナルヲ以テ極メテ少數ヲ記シ内國產ハ課税ニ顧慮シテ決シテ  
 其實ヲ告クサルヘシ今此概數ヲ掲ケタルハ一昨年三府ノ實際ニ付探偵シタル數ヲ以テ其他ノ地方ヲ推  
 測シ且官公私立ノ病院及ヒ醫師一己ノ需用平均數等ヲ彼是參考推測シタルモノナレハ此亦確實ノ數ヲ  
 得タルモノト云フヘカラス因テ右概算ノ金額ヲ以一箇年兩度ニ買入レ暫ク其最況ヲ察セハ二年ノ始ニ  
 至リテ零實數ヲ算知スヘシ故ニ其期ニ至リテ此算數ニ増減アルハ亦豫メ確證シカタクモトス  
 調査局議案十年十月二十二日

國產三千九百十磅  
 外國產九百零三磅

別紙外務内務兩省伺藥用阿片買入ノ儀大藏省へ御照會ノ未審案候處兩省伺ノ趣尤ノ次第ニ付御聞届相成可然哉左案取調相伺候也

藥用阿片買入非製造規則ノ疑ヲ置ス

長崎司藥場ヨリ内務省へ伺十二年十二月二十七日  
阿片買入受拂明細表此節取調上申之積ニ候處十一年第二十一號阿片買入并製造規則第七條拂下ノ件ハ素ヨリ司藥場ノ權限ニテ取扱居候得共第十條賣捌高明細表ハ特許藥舖ヨリ管轄廳へ差出シ管轄廳ヨリ進達ノ手續ト見受申候若然ラハ拂受片相成不都合ノ廉モ可有之然ルニ本年三月受拂手續ノ儀各府縣へ御通達當場ニ於テモ右ニ照準可取扱旨御達ノ趣ニ付テハ受拂明細表共無論當場ニテ可取扱事歟トモ被存候得共右十條中明文無之夫是疑惑ヲ生シ候間否至急御指示相成度此段相伺候也

内務省指令 十三年一月二十二日

書面之趣ハ縣廳ニ於テ取扱候儀ト可心得事

三重縣ヨリ内務省へ伺十六年七月十二日

明治十一年八月第二十一號公布藥用阿片買入并製造規則頒行相成候處縣廳又ハ郡役所等ノ勸業事務上其栽培場或ハ試驗場ノ類ノ箇所ニ於テ阿片製造ノ爲メ製菓ヲ培養シ且藥用阿片ヲ製造セントスルトキハ該規則第十二條ノ例ニ比準シ其旨ヲ詳記シ縣廳勸業事務ニ關スル分ハ御省へ御届及郡役所勸業事務ノ分縣廳ニ爲届出候ニ止リ御省ノ免許鑑札ヲ受クルニ及ハサル儀ト心得可然哉尤其製造ノ阿片取扱方ハ該規則第二條ニ照シ御省へ御買上相願候ハ勿論ノ事ト存候處其製造稟准ノ手續官衙勸業事務ニ屬スル分ハ該規則中明文無之ニ付如何取計可然哉

内務省商務兩省指令 十六年八月十七日

伺之通但郡役所ノ分モ内務省へ届出ツヘキ事

藥舖所持ノ阿片量目ヲ取調差出サシム

内務省達 十一年十月七日 京都府 大阪府 神奈川縣 兵庫縣 長崎縣

管内各藥舖ニ於テ現在所持ノ阿片量目往復ヲ除ノ外三十日限り取調可申出此旨相達候事

衛生局ヨリ内務省へ伺十一年十月七日

先般太政官第二十一號ヲ以テ阿片買入并製造規則布告相成候付テハ該規則實施ノ前ニ於テ内國藥舖現在所持ノ阿片量取調置不申テハ所持者ノ願ニヨリ試驗ノ手續并ニ御買上ノ都合等豫メ用意不致テハ不和成廉モ有之差支可申ト存候間左案ヲ以テ三府并神奈川兵庫長崎ノ三縣ニ御達相成度尤右取調出來候得ハ他縣ノ儀ハ其比例ヲ以大抵推算可相立ト存候此段至急御決議相伺候

外國人へ阿片賣渡規則

東京府達 十一年十月九日 各區區務所  
其区内各藥舖ニ於テ現在所持ノ阿片量目取調來ル二十日限り取纏メ可届出此旨相達候事  
但所持不致藥舖モ本文同日可届事

内務省ヨリ兵庫新瀉兩縣へ達 十一年十月二十五日

藥用阿片買入并製造規則ノ儀去八月第二十一號ヲ以テ公布相成候ニ付差向外國人へ賣渡方ノ儀別紙ノ通報告致候條不日阿片及送附候間發行期日相定在留外國人へ報告可取計此旨相達候事

内務省ヨリ開拓使へ通牒 十一年十月二十五日

藥用阿片買入并製造規則ノ儀去八月第二十一號ヲ以テ公布相成候ニ付差向外國人ニ賣渡方ノ儀太政官へ經伺ノ上別紙ノ通報告取計候條不日阿片可及御送附候間函館御支廳ニ於テ發行期日御取定メ同港在留外國人へ御報告相成度此段及御掛合候也

内務省衛生局ヨリ東京大阪兩府神奈川長崎兩縣へ通報 十一年十月二十五日

藥用阿片買入并製造規則ノ儀去八月第二十一號ヲ以テ公布相成候ニ付差向外國人へ賣渡方ノ儀太政官へ經伺ノ上別紙英文翻譯ノ上報告取計候條此段及御通知候也

(別紙)

阿片賣渡規則

日本帝國政府ノ特許ヲ以テ今後外國人阿片ヲ藥用トシテ需用スルモノニ限り左ノ規則ニ從テ阿片ヲ賣渡スヘシ

第一條 阿片ノ賣渡ハ日本開港開市場ニアル内務省所轄ノ司藥場ニ於テスヘシ司藥場ナキ場所ハ該地方廳ニ於テスヘシ

第二條 阿片ハ本國政府ヨリ藥舖免許ヲ受ケシ者ニ限り賣渡スヘシ  
第三條 右賣渡ス所ノ阿片ハ乾燥品ノ百分中八分ヨリ十二分ニ至ルノ「モルヒネ」ヲ含ミタルモノニ

二十年十一月十二日衛生局通牒ヲ以テ第一條ヲ改正ス  
二十年十一月十二日衛生局通牒ヲ以テ第三條ヲ改正ス

二十年十一月二十二日衛生  
局長陳以テ第六條中司  
藥場ヲ地方廳ニ改ム

シテ司藥場ノ檢印紙ヲ貼スヘシ  
但賣渡ス可キ阿片ノ量ハ一度ニ四十匁以下タルヘシ  
第四條 阿片ヲ買ハント欲スル藥舖ハ其姓名住所國名量日月日ヲ詳細記載シタル書面ヲ以テ願出ツ  
ヘシ

第五條 阿片ヲ買受タル藥舖ハ醫師要用ノ旨ヲ記セル證書又ハ醫師ノ處方書ヲ持參スル者ニ限り之  
ヲ賣渡スヘシ其他ハ總テ賣渡ヲ禁ス

第六條 右藥舖ハ更ニ賣渡ヲ求ムル度毎ニ前回ノ買請高賣捌高製藥ニ用ヒタル總高及ヒ其殘餘ノ高  
ヲ記載シタル書面ヲ司藥場ニ差出スヘシ

但前條ノ證書處方書及ヒ本條ノ製藥ニ用ヒタル種類量目ヲ詳記セル書面ヲ貯ヘ置臨時日本政府  
吏員ノ検査ニ供スヘシ

第七條 第六條ノ書面ヲ記載シテ差出サス又ハ醫師要用ノ旨ヲ記セル證書或ハ醫師ノ處方書ヲ持參  
セサル者ニ阿片ヲ賣渡シ又ハ讓與セル或ハ阿片ヲ吸烟用ニ供スル疑アル藥舖ニハ再ヒ賣渡ヲナサ  
サルヘシ

明治十一年十月二十四日

日本政府内務省衛生局

副報

本條ノ規則ハ東京橫濱ニ於テハ本年十月二十八日ヨリ施行シ其他ノ開港開市場ニ在テハ該地ノ司藥  
場或ハ地方廳ヨリ發賣ノ月日ヲ公告スヘシ

内務省同十一月八日

本年三月十九日藥用阿片賣買并製造規則ノ備相伺候處本月九日第二十一號ヲ以テ御布告相成在留外國  
人ハ報告ノ儀ハ御修正案ノ通可取計段御指令相成候ニ付更ニ熟考候處第六條ノ如ク表ヲ製シテ爲差出  
候共外ニ數種ノ製藥劑ニ使用候儀モ有之ニ付進モ元請賣捌ノ數量ハ符合致間布又該表式ヲ詳密ナラ  
シムル時ハ營業上頗ル煩勞ニ涉リ苦情ヲ來スノミニシテ却テ其實ヲ得難キ弊ヲ生スルモ難圖畢竟取締  
實際ニ行届候ヲ要點ト致候儀ニ付更ニ左記ノ通改訂報告取計度外務省ヘモ協議ノ上此段相伺候至急仰  
裁可候也左記

指令十一年九月六日  
伺之通

内務省同十一月十六日

阿片賣渡規則外國人ハ報告案ノ儀去八月二十一日再伺ニ及ヒ九月六日伺ノ通御指令相成候處洋文翻譯  
都合等モ有之外務省ヘモ熟議ノ上尙聊カ修正ヲ加ヘ報告取計候條別紙和洋文相添此段及御届候也  
退テ東京橫濱ノ他各開港開市場ヘハ引續阿片遞送致シ候ニ付何レモ不日發行可致此段副申致シ候也  
内務省同十一月二十六日  
去ル十六日外國人ハ阿片賣渡規則報告ノ儀及御届候後外務省ヨリ各國公使ヘ通知ノ都合有之ニ付四五  
日間報告見合候儀掛合來リ爲メニ遷延罷在候處該規則冒頭ノ英文語翻譯不充分ノ廉有之更ニ別紙ノ  
通知改且副報中東京橫濱ハ本年十月二十日ヨリ施行ヲ十月二十八日ニ改メ一昨二十四日報告取計候條  
此段再應及御届候也英文

内務省布達 十一月二日

本年八月太政官第二十一號布告阿片賣買并製造規則之儀ハ來ル明治十二年五月一日ヨリ施行候條此旨  
布達候事

内務省達 十一月四日

本月二日當省甲第二十七號ヲ以テ阿片賣買并製造規則施行ノ日限布達候ニ付テハ豫メ左件ノ通可取計  
此旨相達候事

一各管内藥舖營業者及ヒ阿片製造者ニ於テ現在所持ノ阿片ノ試驗ヲ要スルモノハ來ル十二月限り最寄  
司藥場ニ差出ス可シ試驗ノ上相當ノ品ハ小器ニ分チテ印紙ヲ貼附シ之ヲ下渡シ若シ其買上ヲ望ムモ  
ノハ定價ヲ以テ買上ク可ク品位不相當ノ品ハ其理由ヲ記シテ持主ニ返附スヘシ

一阿片賣買並製造規則第四條ニ據リ各郡區ニ於テ阿片賣捌ヲ特許スヘキ藥舖ヲ撰定シ其郡區町村番地  
姓名年齡ヲ詳記シ來ル十二月限り申出ヘシ

一阿片製造人有之地方ハ同規則第十二條ニ據リ免許鑑札願出シムヘシ

現在所持ノ阿片處分及  
阿片特許賣捌阿片製造  
免許鑑札願出等ヲ豫メ  
取計シム

十二年六月内務省達ヲ以  
テ出願期限ヲ延期ス

阿片賣買并製造規則施  
行期日

十二年六月東京府達甲第  
六十四號ヲ以テ出願期限  
ヲ延期ス十二年六月内務  
省達乙第二十七號ノ次ニ  
載ス

東京府布達 甲第一一八號 十一月二十八日

本年八月第二十一號藥用阿片賣買并製造規則公布及内務省甲第二十七號同規則施行日限(明治十二年五月一日ヨリ)布達相成候ニ付而ハ醫師病院并藥舖營業者及阿片製造之者ハ左件ノ通可相心得此旨布達候事

一 藥舖營業者及ヒ阿片製造者ニ於テハ現在所持ノ阿片ノ試驗ヲ要スルモノハ來ル十二月限リ内務省司藥場ニ差出スヘシ同場ニ於テハ試驗ノ上相當ノ品ハ小器ニ分チ印紙ヲ貼付シ之ヲ下渡シ其買上ヲ望ムモノハ定價ヲ以テ買上ケ品位不相當ノ品ハ其理由ヲ記シテ持主ニ返付スヘシ

一 藥用阿片賣捌ヲ特許スヘキ藥舖ハ各郡區内ニ於テハ撰定ノ上其住所姓名ハ追テ報告スヘシ醫師病院及一般藥舖等ニ於テハ同規則第八條ニ據リ特許藥舖ニ就キ之ヲ購求スヘシ

一 特許藥舖ニ於テハ同規則第十條ニ據リ每半年分拂受并ニ賣捌ノ總高等明細表正副二通毎年一月八月兩度ニ當廳ヘ差出スヘシ

開拓使札幌本廳達 丁第一八十二號 十一月四日

内務省本年乙第六十八號府縣ヘ達ノ趣管内ニ於テモ同様履行候條公私立病院及藥舖ニ於テ藥用阿片現在所持ノ分達到達ノ日ヨリ三日間ニ悉皆取纏該地發遣至急便ヲ以當廳衛生事務取扱ヘ可差出尤所持無之分ハ其旨届出候儀ト可相心得此旨相達候事

内務省衛生局ヨリ東京大阪橫濱長崎司藥場ヘ達 十一年十一月十二日

本月四日乙第六十八號御達相成候ニ付テハ阿片試驗并買上取扱方左記ノ通可心得此旨相達候也

一 本月四日當省乙第六十八號御達ニ基キ阿片買上ヲ願出ツル者アルトキハ試驗ノ上「モルヒネ」ノ含量濕潤品ハ六分以上乾燥品ハ八分以上アルモノニ限リ聞届クヘシ

但第二十一號公布阿片賣買并製造規則第十五條ニハ十一分ニ至ルマテ云云記載アレトモ買上品ニ限リ「モルヒネ」分超過スルモ妨ケナシ

一 右買上タル阿片ハ試驗出來次第 成丈十二 月限リ 每品「モルヒネ」ノ含量ヲ詳記シテ東京司藥場ニ送致スヘシ

阿片試驗并買上取扱手續

同場ニ於テハ各司藥場ヨリ領受ノ上本局ノ指揮ヲ乞フヘシ

一 買上價額ハ當分九乃至十分<sup>乾燥品</sup>ニシテノモノ百目ニ付金七圓ト定メ八乃至九分ノモノハ一割ヲ減シテ金六圓三十錢トシ又十乃至十一分ノモノハ一割ヲ加ヘテ金七圓七十錢トスルカ如キ「モルヒネ」一分ノ増減毎ニ一割ノ價ヲ上下スルモノトス

一 右買上金額ハ見積リテ以テ差向キ金百圓相渡シ置クニ付十二月限リ拂渡明細書差出スヘシ

一 試驗ノミチ乞フモノ其品位相當ナルトキハ之レヲ乾燥粉末トナシ一匁入ノ瓶ニ分チ定式<sup>外國人ニ</sup> 拂下品ノ<sup>裝置</sup> 云フ 如ク「モルヒネ」ノ含量等ヲ記シタル藥名箋及印紙ヲ貼シテ交附スヘシ

一 右ノ容器并印紙等ノ諸費トシテ一匁入ニ付金二錢二釐ヲ收入スヘシ

一 願人ヨリ一匁入リノ容器ヲ差出シタルモノハ印紙等ノ費用トシテ一瓶ニ付金一錢ヲ收入スヘシ

一 右ノ收入金ハ取纏メ十二月限リ本局ヘ納附スヘシ

一 試驗ノ上品位不相當ノ品ハ御達面ノ如ク其理由ヲ記シテ其儘持主ヘ返附スヘシ

一 遞送費ノ阿片持主ニ係ハルモノハ一時繰替置其旨該管廳或ハ持主ヘ申送ルヘク本局及司藥場ニ係ハルモノハ前項阿片買上費ノ内ヲ以テ仕拂其旨申出ツヘシ

東京府達 甲第一一八號 十一月二十八日

本年八月第二十一號藥用阿片賣買規則公布ニ付テハ同規則第四條ニ據リ阿片賣捌ヲ特許スヘキ藥舖人名各區内ハ五名ツツ各郡内ハ三名ツツ撰定來ル三十日限リ可申出此旨相達候事

内務省衛生局所定 十二年三月二十四日

阿片賣買特許鑑札并同製造免許鑑札雜形

阿片賣買特許鑑札并同製造免許鑑札雜形

東京府阿片賣捌ヲ特許スヘキ藥舖ヲ撰定申出シム

第 一 號

衛生局 長印

明治 年 月 日

內務省

省 內務 印

右阿片賣買特許候事

號 何府縣何國何郡  
何町何村何番地  
族籍 氏 年 名

第 一 號

衛生局 長印

明治 年 月 日

內務省

省 內務 印

右阿片賣買特許候事

號 何府縣何國何郡  
何町何村何番地  
族籍 氏 年 名

大藏省印

第 一 號

衛生局 長印

明治 年 月 日

內務省

省 內務 印

右阿片製造免許候事

號 何府縣何國何郡  
何町何村何番地  
族籍 氏 年 名

第 一 號

衛生局 長印

明治 年 月 日

內務省

省 內務 印

右阿片製造免許候事

號 何府縣何國何郡  
何町何村何番地  
族籍 氏 年 名

大藏省印



阿片受拂手續

内務省衛生局ヨリ開拓使各府縣東京大阪兩府神奈川長崎兩縣へ通報十二年三月二十九日  
 阿片賣買并製造規則ノ儀來五月一日ヨリ施行可相成ニ付テハ右阿片受拂手續ノ儀各地方區區相成候テ  
 ハ不都合ニ付當局ニ於テ別紙ノ通取調候條右ニ準シ御取扱相成度此段及御照會候也  
 内務省衛生局ヨリ東京大阪橫濱長崎司藥場へ達十二年三月三十一日

阿片受拂手續ノ儀別紙ノ通取調各府縣へ及通達候條其場ニ於テモ右ニ照準可取扱此旨相達候事

阿片受拂手續

一各地方廳及各司藥場ヨリ阿片ヲ拂下クルハ明治十一年八月太政官第二十一號布告ヲ遵守シテ願出  
 タル藥舖ニ限ルモノトス

但外國藥舖ニハ開港開市場アル地方ニ限り賣渡スモノトス

一阿片ハ粉末一匁ヲ以テ一器トシ每器ニ司藥場検査印紙及番號毎年「モルヒネ」ノ含量等ヲ明記セ  
 ル藥名箋ヲ貼附シ毎年二次衛生局ヨリ各府縣司藥場アル地方ハ之ヲ除クニ配達スヘシ

一府縣廳ハ每半年分拂下ノ豫算ヲ以テ一月七月ノ兩度内務省へ受取方通牒アルヘシ若シ不足スルト  
 キハ臨時受取方通牒アルモ妨ケナシ

但本年七月ハ豫算通牒アルヲ要セス

一府縣廳及司藥場ヨリ特許藥舖ニ鴉片ヲ拂下ルハ毎年二期トス

但闕乏ノ節臨時拂下ルハ規則第七條ノ通タル可ク且拂下ノ定期ハ毎年三月ヨリ四月九月ヨリ十  
 月等地方ノ便宜ニ因リ定ムルヲ要ス。レトモ本年ハ五月ヨリ七八月ニ至ルヲ一期トスルヲ欲ス

一府縣廳ニ於テ阿片ヲ拂下ルトキハ其都度藥舖ノ住所姓名外國人ナレハ其國名ヲモ記スハ其國  
 細簿記シ置每半年七月ヨリ十二月分離形ノ表ニ通テ製シ一ハ地方廳ニ備ヘ一ハ特許藥舖ヨリ差出  
 シタル表并外國藥舖ヨリ差出シタル書面ト共ニ二月并ニ八月中ヨリ遅カラサル様内務省ニ進達ア  
 ルヘシ

但本年ハ來五月ヨリ十二月ニ至ル分ヲ一纏シ十二年二月中迄ニ進達アルヘシ

一府縣廳ニ於テ内外國藥舖ニ阿片ヲ拂下ルトキハ都テ現金ヲ以テ收入シ置毎年三月六月九月十二月  
 ノ四次銀行又ハ郵便爲換券ヲ以テ内務省ニ上納アルヘシ  
 一内務省ニ於テ阿片買上拂下ノ價格ハ每半年或ハ一年ヲ通シテ之ヲ定メ衛生局ヨリ報告スヘシ  
 一特許藥舖ニ於テ阿片ヲ販賣スルハ衛生局ヨリ報告ノ原價ニ相當ノ手数料ヲ加フヘシト雖ニ割ヨリ  
 超過販賣ス可ラサル旨豫メ府縣廳ヨリ特許藥舖ニ布達アルヲ要ス  
 一内務省ヨリ拂下クル所ノ阿片其價格ニ每期多少ノ差異ヲキテ得サルニヨリ府縣廳ニ於テハ其高低  
 ニ不拘番號ノ順ヲ逐ヒ其定價ニ從ヒ拂下クルヲ要ス

明細表離形

明治何年下半期阿片受拂明細表

元受

主任 官等姓名印

受入月日	番號	百分中 モルヒネ量	瓶數	價	一瓶ノ價
何月何日	第何號	九乃至十	何千何百何十	何百何十圓	十錢何釐
何月何日	第何號	十乃至十一	何千何百何十	何百何十圓	何十錢
總計			何千何百何十	何千何百圓	

拂下

前期ノ殘餘品アルトキハ表初ニ記入スヘシ

拂下月日	番號	瓶數	價	藥舖住所	姓
何月何日	第何號	何百何十	何十何圓	何國何町何番地	特許藥舖 何人何某
何月何日	第何號	何百何十	何十何圓	何國何町何番地	何人何某
總計		何百何十	何百何十圓		何十人

十二年五月五日衛生局照  
 合テ以テ拂下表中番號ト  
 瓶數トノ間ハ一隔ヲ增加  
 ス

元受拂下差引殘

阿片何百何十瓶明治何年六月三十一日現在高  
前書之通相違無之候也  
年號月日

府縣長官印

內務省衛生局報告 第十二號 四月四日

本年間阿片製造人ヨリ買上クヘキ濕潤阿片并ニ各地方廳及ヒ司藥場ヨリ特許藥舖ニ拂下クル粉末阿片ノ價格左ノ通相定メラレタリ此旨報告ス

買上價格

濕潤阿片 百分中六以上七未満ノ百目ニ付 金六圓三十錢  
但「モルヒネ」ノ含量一位ヲ増ス毎ニ金七十錢ノ價格ヲ加フ

拂下價格

粉末阿片「モルヒネ」ノ含量九乃 一瓶ニ付金十三錢六釐  
同「モルヒネ」ノ含量十一 同斷ニ付金十五錢五釐  
一期ノ拂下品ハ其品位價格ヲ一樣ニスヘキ旨趣ナレ共本年ハ都合アリテ右ノ二種トス但其番號ハ齊シク一號ヲ用フ

內務省衛生局ヨリ開拓使各府縣 東京大阪二府神奈 へ通報 十二年五月五日

阿片受拂手續之儀過般衛第七百五十一號ヲ以テ及御照會候處今般拂下品ハ同號ニシテ其品位ニ二種有之候ニ付右手續中拂下表番號ト瓶數ノ間(百分中)ノ一欄ヲ御加相成度此段更ニ及御照會候也

內務省衛生局ヨリ東京大阪橫濱長崎司藥場へ達 十二年五月三日

濕潤阿片買上并粉末阿片拂下價格

十八年十二月內務省告示第七十四號ヲ以テ改正ス

阿片受拂手續中ノ拂下表一欄ヲ追加ス

第七百五十一號(附會ト)十二年三月(日)衛生局通達ヲ指ス

阿片受拂手續之儀過般衛第七百五十一號ヲ以テ相違候處今般拂下品ハ同號ニシテ其品位ニ二種有之候ニ付右手續中拂下表番號ト瓶數ノ間(百分中)ノ一欄ヲ相加候條此旨相違候事

內務省達 十二年六月二日

昨明治十一年乙第六十八號ヲ以テ藥舖營業者及ヒ阿片製造者ニ於テ現在所持ノ阿片試驗或ハ買上ヲ望ム者ハ同年十二月限り爲願出候條相違置候處事故ニヨリ期限ニ後レ出願不致今日空シク廢棄ニ屬シ迷惑ノ者有之趣相聞候ニ付更ニ來ル七月三十一日迄出願可聞屆候條試驗并ニ買上共最寄司藥場へ申出候樣可相違此旨相違候事

衛生局ヨリ內務省へ伺 十二年六月日

藥舖并阿片製造者ニ於テ從來所持致居候阿片ハ規則發行之時ニ至リ差支ナキヲ要スル爲メ客歲乙第六十八號ヲ以テ試驗或ハ買上之儀出願候條御違相成爾來連々出願之者有之候處右期ヲ失マリ即今ニ至リ司藥場檢査印紙貼附無之モノハ販賣之途ナク空シク廢棄ニ付スル者有之趣旨ニ懸然ナルノミナラス可借儀ト存候條左案御違相成度此段相伺候

東京府布達 十二年六月九日

明治十一年甲第六十八號布達中藥舖營業者及阿片製造者ニ於テ現在所持ノ阿片試驗或ハ買上ヲ望ム者出願ノ儀同年十二月限りニ候處事故ニ由リ期限ニ後レ空シク廢棄ニ屬シ迷惑ノ者有之趣ニ付更ニ來ル七月三十一日迄右出願聞屆相成候條試驗并買上共內務省司藥場へ可申出此旨布達候事

開拓使札幌本廳達 十二年八月十五日

明治十一年 丁第八十號達藥用阿片賣買等ノ儀當廳管内ハ當分左記ノ箇所ニ於テ賣捌方爲取扱候條凡醫師病院及一般藥舖等ニ於テ藥用阿片ヲ要スルトキハ其量目并其住所姓名及年月日 病院ハ其名稱及姓名ヲ記シ調印シタル證書ヲ以テ拂下ヲ請求候儀ト可相心得此旨相違候事

札幌病院

札幌病院小樽出張所

阿片買上出願期限ヲ延期ス

甲第六十八號ハ十一年十一月內務省達乙第六十八號ノ次ニ載ス

札幌本廳藥用阿片賣捌所并拂下請求方



